



企業紹介

阪急鉄工株式会社

堀田 昭三*



代表取締役社長 堀田昭三
 創業 昭和32年8月8日
 資本金 4,000万円
 売上高 205,000万円（昭和61年度）
 従業員 160名
 業種 鉄鋼、非鉄金属加工製作及び重電機器
 部品の製作と加工

その内容 1. 電力送電鉄塔，電々マイクロ，鉄
 構，鉄柱，建築，鉄道用ボルト，
 ナット
 2. 電力配電用架線金具類
 3. 重電遮断機消弧室，電磁コイル，
 導体製作加工
 4. 重電機器の鍍金，熱処理，マスキ
 ング加工

所在地 本社及び大阪工場
 大阪市住之江区御崎2丁目10の10
 TEL 681-3794(代)
 丸亀工場
 香川県丸亀市蓬萊町53番地-2
 TEL 0877-24-0671

会社設立の経緯と現状

*堀田昭三 (Shozo HOTTA)，阪急鉄工株式会社，
 取締役社長

当社は阪急電鉄株式会社の関連企業である阪急産業株式会社より独立し関西電力(株)，近畿電気工事(株)，両社後援のもとに昭和32年設立され各電力会社の送電，配電用鉄鋼金属機器の受託製作を専業としつつ，昭和54年以来三菱電機丸亀製作所と重電開閉機器，閉鎖機器部品の製作の下請を進め鉄鋼，非鉄金属のみならず，プラスチック加工に至る電力関係メーカーとして広く業種の多用化をはかりつつあります。

製作，加工の内容

1. ボルト部門

電力鉄塔の遠隔大容量化に入り，電源と需要地域を結ぶ超高圧送電工事は50万Vから100万Vの時代に至り，使用されるボルトも鋼材はSS40，50，SWCH，SCR440，SCM435と普通材から高張力用まで多岐にわたり，熱かん鍛造はフレクシヨンプレスにより，主として大径ハイテン，ボルトを，冷かん鍛造はコールドヘッダーで圧造され塑性加工の特性利点と精度を加味し，設備の近代化量産態勢を整えつつあります。

製作ボルトの呼び径はφ12，16，20，22，24，30，36，42

長さはL25から300以上と形状共々多様に分類され電力専門メーカーの観を抱かれます。

2. 架線金物部門

電力会社にあつて配電設備の省力化，安全，予防保全が推進されていますが，当社も経済性，安全性，美観，強度的信頼の満足を戴けるよう研鑽を重ね，各種機器を次の如く製作中であります。例→電柱用アームバンド，足場金物，フック取付金物，機器吊架用金物，ケーブル支持金物，昇柱防止金物，変圧器バンド，ストラップ，O型フック，リンク，開閉器保護管，等関

生産と技術

西、中国、四国電力始め各種要望に即意する開発に心掛けております。

適用鋼材は構造用圧延鋼材S S 41を基本と致します。

3. 電機機器部門

三菱電機(株)との提携による重電機器部品の製品あるいは加工外注は逐年拡大し、次の製作作業を展開中であります。

- A. 磁気遮断器用消弧室
- B. 遮断器及び配電盤用電磁コイル

- C. 銅、アルミブラスパー導体加工
- D. 機器部品の鍍金、熱処理、マスキング

お 願 い

今般生産技術振興協会の一員に加入の栄に浴しましたが、業種の性質上各電力会社より送電、配電現地の気候、風土、環境諸条件で発生する安全、予防保全処置としてアイデア製品の研究開発の必要に迫られ、此の際学識経験豊富な方々のご高見を拝聴し、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

